

児童図書室だより

No.135(2026.4)

～よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本～



カタッポ

大原悦子 文
山村浩二 絵
福音館書店 2026.1

(資料ID: 1112343208)

片方だけ落とされてしまった手袋の「カタッポ」たち。駅の落とし物箱を抜け出して、持ち主を探す旅に出かけました。色も形も性格もばらばらなカタッポたちは、冒険の先でそれぞれの居場所を見つけたようです。

まわるおすし屋さん

藤重ヒカル 作
福音館書店 2026.1

(資料ID: 1112345024)



山のお祭りで「まわるお寿司屋さん」を開くことになったサルたち。何がまわるのか知らなかったサルたちが知恵を出し合い、試行錯誤の末に完成した店とは……。

愛知県図書館児童図書室のご案内

●電話 … 052-212-2323

●開室時間 … 火曜日～日曜日 10:00～18:00

●休館日 … 月曜日・第2木曜日、

その他、開館カレンダーをご確認ください



愛知県図書館キャラクター
ちび太

絵

本



バルレッタのふしぎな大おとこ

トミー・デ・パオラ 再話・絵
福本友美子 訳
光村教育図書 2025.9

(資料ID: 1112316695)

イタリアのバルレッタという町の教会のまえにたっている大きな像。バルレッタの人びとは、この大おとこが大好きです。いろいろなおはなしが伝わっていますが、一番気なのは、この大おとこの像が、軍隊からバルレッタの町をすくったというおはなしです。

おもいでいろのねこ

PEIACO 作・絵
Gakken 2025.12

(資料ID: 1112330264)



ミルクはしろねこのぬいぐるみです。ぼうやがうまれたばかりのころから、ずっとなかよしでした。ある日のこと、おばさんがぼうやにしろくまのぬいぐるみをプレゼントしました。しろくまとくらべてみると、自分がふるぼけているようにみえてしまったミルクは……。

【小中】



わたしは書体デザイナー みんなの「読める」をデザインしたい

高田裕美 著
ニシワキタダシ、くどうのぞみ イラスト
Gakken 2025.11

(J007-カ-1112329254)

著者の高田さんは文字をデザインする、書体デザイナー。UD（ユニバーサルデザイン）の書体を作るため、試行錯誤を繰り返し「UD デジタル教科書体」を完成させます。

ヘレン・ケラーとかわした手紙 Dear Helen, From Takeo

横田明子 作
文研出版 2025.12

(J289-17-1112343217)



【小高】

岩橋武夫は19歳で突然視力を失います。絶望し、命を絶とうとしますが、家族の支えや点字を知ったことで生きる希望を見つけ、英国に留学をします。帰国後、日本のライトハウス建設に情熱を注ぐ中、ヘレン・ケラーと出会い、手紙のやりとりをするようになります。

ものがたり・ちしきの本

【小高】



魔法のつららペン つららペンと氷の国

山崎ナオコーラ 作
アサバマリエ 絵
静山社 2025.11

(J913-ヤマ-1112329281)

書字障害があり、文字を書くことが苦手な主人公のゆきは、自分の書く文字が好きではありません。ある日、上手な字が書ける不思議なつららのようなペンを拾います。すると、つららペンを探している白い少年と出会い、ペンを返したお礼に氷の国へ遊びに行くことになり……。

ひとりぼっちのベア

ハンナ・ゴールド 作
田中奈津子 訳
静山社 2025.12

(J933-コル-1112335888)



【小高】

11歳のエイプリルは、父親と北極圏のベア島に6か月間住むことになります。ベア島はホッキョクグマがいない島。でも、エイプリルは一頭のホッキョクグマと出会います。どうしてこのホッキョクグマはここにいるのでしょうか。